



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その63

今回も外国人建築家の作品で、兵庫県にある「猪名川霊園」です。英国の建築家、デイヴィッド・チッパーフィールドの設計で、2017年に完成しました。構造体の持つ力強さや、自然光の巧みな扱いによる明暗など完成度は高いと思います。私見ですが、久し振りに「建築」を感じさせてくれる作品に出会えた…と感じました。一見の価値はあると思います。

CURRENTLY WORKS



調剤薬局の飛び石改修…その2

しばらく前に、半個室的な待合をデザインした調剤薬局ですが、今回はその他の部分の改修も行いました。シンプルでゆったりした、円弧上のカウンターを設置し、バックのコーナー部分には、間接照明を仕込んだL型パネルを立てています。このチェッカー木目柄のパネルは、薬剤師であるオーナーと、私たちが、価値観と美意識を議論して生まれました。

PRIVATE TOPICS



岡島の「医療への想い」…調剤薬局でのワンシーン

ある日の薬局…薬剤師さんは丁寧に服薬指導を行っていて、患者さんも一所懸命聞いていました。その患者さん曰く「怒られたがね」…ずっと見ていましたが、そんな事はありません。「毎朝忘れずに飲んで下さい」という言葉がきつく聞こえたようです。病気で心が弱っていると、普通以上に強く響くものです。健康な人同士でも気に留めたい出来事でした。

EDITIONAL NOTE

10月21日は「国際反戦デー」です。1968年には新宿駅占拠の騒ぎもありました。当時の体験ですが、コンサートで、中川五郎が「10月21日の夜に」という1曲だけを歌い続けました。活動家でもあった彼が「今はこの歌しか歌いたくない…」と語ったのは、当時の反戦運動への違和感だったのでしょう…

編集担当：太田・藤原